



小学校 5年()組()番 名前()

5年生で身につけておいてほしい力とすがた

学校教育目標や育成したい資質・能力を踏まえ、5年生の目指す姿を配付前に教職員が記入しましょう。5年生がイメージできるような具体的な姿で示すことがポイントです。配付時には、教職員の思いを児童に説明しましょう。

5年生が終わったときこんな自分になりたい

今年度末の自己の目指す姿を児童自身に設定させます。「〇〇の場面で〇〇ができるようになる。」といった具体的な姿や態度で設定させてください。

好きなこと・今夢中になっていること

児童が自分自身が好きなこと、今夢中になっていることを自由に書く欄です。好きなことや夢中になっていることは、将来の希望や夢をもつことにつながります。また、好きなこと、今夢中になっていることを考えることは、「広島県の15歳の生徒に身につけておいてもらいたい力」である「自己を認識する力」にもつながります。児童が書いたことを肯定的に受けとめ、認め励ます声掛けもお願いします。



1学期

1学期終わったときこんな自分になりたい

今年度末の自己の目指す姿を踏まえて、自らの目指す姿を設定させてください。目指す姿が書けない児童は、頑張ることを書かせてもよいです。

↓

なりたい自分にどれだけ近づけたか、ふり返りましょう
(学習面)

これまでの授業や学校行事の記録、上記の「なりたい」姿などを基に記入させます。「なりたい自分にどれだけ近づけたか」という視点が難しい児童は、第4学年のシートと同様に、学期の振り返りを考えるように、と声掛けをしましょう。「できた・できていない」だけでなく、できるようになるために行動した自分にも気付かせることが何よりも大切です。できるようになっていなくても、そこに向けて力を注いだことがあることを伝え、「〇〇を続けた」など児童の努力を自覚できるようにし、頑張りを認めることとして、肯定的に捉えられるよう支援をしましょう。

2学期

2学期終わったときこんな自分になりたい

前の学期と内容が同じになる児童もいます。頑張り続けていることとして認め、無理に変更させることがないようにしましょう。

↓

なりたい自分にどれだけ近づけたか、ふり返りましょう
(学習面)

(生活: そじの時間, 係活動, クラブ活動, 学校行事など)

(家庭や地いき)

3学期

3学期終わったときこんな自分になりたい

↓

なりたい自分にどれだけ近づけたか、ふり返りましょう
(学習面)

(生活: そじの時間, 係活動, クラブ活動など)

(家庭や地いき)

1年間をふり返って

高学年としてがんばったことやみんなのためにしたこと、成長したと思うこと

どんな些細なことでもよいです。自分の成長を気付かせてください。学級活動等で、他者からの評価をもらうことも有効です。これまでの学年と比較し、自分の成長を振り返ることで、この1年間の成長を実感させることも考えられます。

自分のよいところや、とく意なこと

友達同士で、お互いに頑張っていたところやよかったところを語り合う活動を取り入れることも考えられます。

こんな6年生になりたい

5年生での経験を踏まえ、これからの抱負を考えたり、6年生の学校生活や学校行事などをイメージさせ、希望をもたせるようにします。学級活動等で意見交流することもよいアイデアです。

先生からのメッセージ

先生や家の人から児童の頑張りやできるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らのよさや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めたりすることにつながります。十分に振り返りが書けなかった児童に対しては、児童自身が自覚できなかったよさや可能性などをメッセージとして送ることで、将来、自分の成長を振り返ることができます。

先生からのメッセージ

1年間を終えて、先生からのメッセージ

家の人などからのメッセージ